

## 流域関連伊勢市公共下水道 事業評価について

### 1 事業評価の目的

下水道事業については、財源を確保するために国へ整備計画（3～5 箇年）を提出し、交付金を受け進めている。今回の事業評価に対する意見聴取は、地方創生推進交付金制度要綱の規定に基づき作成した整備計画の終了時における市の自己評価に対し、透明性・客観性・公正さを確保するため上下水道事業審議会において意見を伺うものです。

なお、中間時については平成 31 年 1 月開催の上下水道事業審議会で評価をいただきました。

### 2 清らかな森と水のまちづくり、いせの水環境再生計画（事後評価）

平成 27 年度から平成 31 年度（令和元年度）までの 5 箇年において生活排水対策を目的として、公共下水道及び浄化槽などの整備を行った。

No	項目指標	基準値 (H25)	中間目標値 (H29)	最終目標値 (R1)
			中間実績値	最終実績値
2-1	汚水処理人口普及率（※1）	65.7%	75.6%	85.8%
			74.3%	78.1%
2-2	勢田川水質（BOD の値）（※2）	4.7mg/l	4.0mg/l	3.0mg/l
			5.4mg/l	3.6mg/l
2-3	伊勢神宮の参拝者数（※3）	804 万人	800 万人	800 万人
			880 万人	973 万人

※1 汚水処理人口普及率：市内における下水道と合併浄化槽が利用できる人口の割合

※2 BOD の値：微生物がよごれ（有機物など）をたべて消費する酸素の量で汚れの度合を示す指標の一つ（生物化学的酸素要求量数値）

※3 伊勢神宮の参拝者数：基準値は、H24 の調査結果を用いている。

#### 【自己評価】

公共下水道事業は予定どおり整備を進めることができた一方、合併処理浄化槽の申込み件数が少なかったため、汚水処理人口普及率の目標は達成することができなかった。

また、河川の水質については、目標値には達しなかったが、環境基準値（BOD：5.0mg/l）を下回っており、水生生物調査も実施できるほど改善してきている。

### 3 今後の予定について

年月日	内容
令和 2 年 9 月	本日いただいた意見を記載した評価書を 伊勢市ホームページへ掲示し、国へ報告